

取扱説明書

IMASEN **xsto**[®]

EMC-MR4 型



電動車椅子

ご使用前に取扱説明書をお読みください。

また、読み終えた後も本説明書は廃棄せず、大切に保管してください。

EMC-MR4 について

本製品は、歩行が不安な方や高齢者の方によりスマートで快適な移動手段を提供する電動車椅子です。

特徴としては、シートの高さ調節機能やシートを常に水平に保つ機能など、実用的な機能を備えています。シートの高さ調節機能は、使用者は自身のニーズに応じて座席の高さを簡単に調整でき、さまざまなシーンや利用状況に対応できます。また、シートの角度や高さの位置をそれぞれで調整できるため、快適な座り心地を実現します。そして、より快適な生活を提供します。

もくじ

1	はじめに..... 1	4	組立てと分解..... 21
1.1	本説明書の注意表示について..... 2	4.1	パーツユニット.....21
1.2	コーションラベルについて..... 2	4.2	組立て・分解方法.....21
2	構成部品と各部の名称..... 3	5	保管及び運搬..... 25
2.1	構成部品..... 3	5.1	保管方法.....25
2.2	各部の名称..... 4	5.2	運搬方法.....25
2.3	操作ボックス..... 4	6	バッテリーの使用説明..... 27
2.4	諸元・性能表..... 6	6.1	バッテリーに関する注意事項.....27
2.5	本体サイズ..... 7	6.2	バッテリーの充電.....31
2.6	ご使用前の準備..... 8	6.3	バッテリーの取り付けと取り外し ..32
3	操作方法..... 9	7	メンテナンス..... 33
3.1	乗車および降車方法..... 9	7.1	メンテナンス及びチェック.....33
3.2	操縦方法..... 11	7.2	保証期間.....37
3.3	手押し操作と電動操作の切り替え 方法..... 18	7.3	責任について.....37
3.4	USB 充電ポート説明..... 20	8	故障が考えられるとき..... 38
		8.1	エラーコード.....38
		8.2	トラブルシューティング.....40

1 はじめに

本製品は多くの機能を備えているため、使用者は意識がはっきりしていて、なおかつ、正常な思考能力を持っている必要があります。そのため、使用者および介助者は、はじめに本説明書をよく読み、使用方法や注意事項を十分に理解した上でご使用ください。なお、電動車椅子は道路交通法で歩行者にあたります。道路交通ルールをしっかりと守り、指定の使用目的のみにご使用ください。

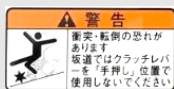
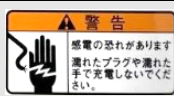
1.1 本説明書の注意表示について

ここに示した注意事項は、危害や侵害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ず守ってください。

- | | |
|--|----------------------------------|
|  | 警告 : 重大な事故につながります。 |
|  | 注意 : 軽い怪我や機器の損傷の可能性があります。 |

1.2 コーシヨンラベルについて

本製品には、事故や怪我を防ぐため注意が必要な場所にシールがあります。

 挟み込み注意	手を挟まないようご注意ください。
	電磁放射線にご注意ください。
	物を置かないでください。
	クラッチレバーのロックとアンロック（詳細は「3. 3手押し操作と電動操作の切り替え」を参照ください）
 警告 衝突・転倒の恐れがあります 坂道ではクラッチレバーを「手押し」位置で使用しないでください	坂道でのクラッチレバー操作は大変危険ですのでお控えください。
 警告 感電の恐れがあります 濡れたプラグや濡れた手で充電しないでください	濡れたプラグや濡れた手で充電はお控えください。
〇〇年〇〇月製 〇〇〇〇〇〇〇〇	製品の製造年月日と車体番号(7桁)です。修理時やお問い合わせ時に必要になります。

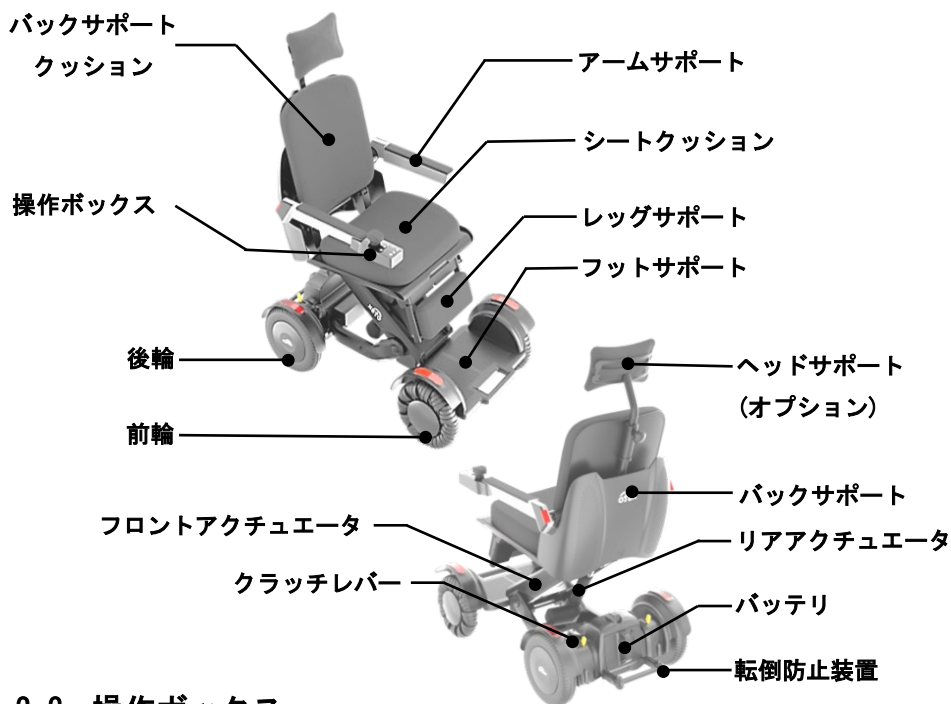
2 構成部品と各部の名称

2.1 構成部品

本製品は次のような部品で構成されています。不足品がないかご確認ください。

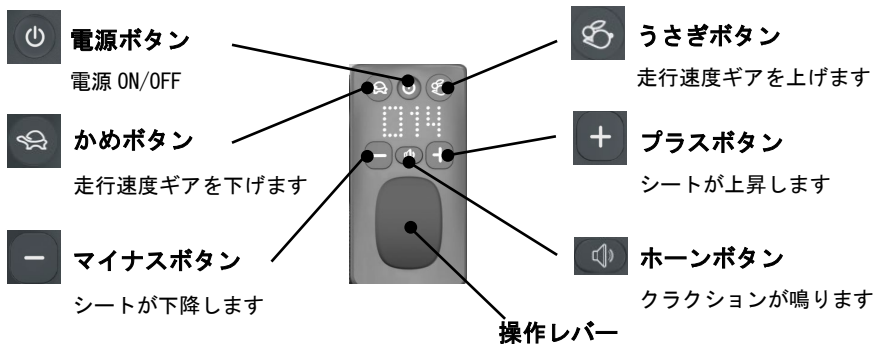
本体	バッテリー
	
取扱説明書	充電器一式
	
リモコンキー	工具(六角レンチ・小石除去掃除機)
	

2.2 各部の名称



2.3 操作ボックス

2.3.1 ボタンの名称と機能



2.3.2 操作ボックス表示画面の説明

	起動後すぐの画面に表示される 2 桁の数字はバッテリー残量です。
	バッテリー残量が 20%以下になると、バッテリー残量の数字の横に赤いランプが表示されます。早急に充電してください。
	起動後ウェルカムアニメーションの後、または、速度ギア変更時に表示される左図のような画面上の数字は、速度ギアを示し、1～5 の段階があります。「1」が最低速度、「5」が最高速度です。 調整は、 または  ボタンで調整できます。
	 と  ボタンを同時に約 3 秒間押すことで、画面に「<u>U</u>」が表示されます。その後、シートの高さが標準高さ（595mm 高さ）にセットされます。
	画面の「<u>U</u>」表示後、さらに  と  ボタンを同時に約 3 秒間押すと、画面に「<u>E</u>」が表示されます。その後、座席が最下点まで下降します。

2.4 諸元・性能表

型式			EMC-MR4	
寸法 (mm)			全長1,030×幅585×高さ1,095(標準)	
折畳み時寸法 (mm)			全長1,040×幅585×高さ580	
シートからアームサポート (mm)			180/200/220(標準)	
本体重量 (kg)			本体 : 53.8 バッテリ : 2.7	
最高時速 (km/h)			6.0	
連続走行距離 (km)			15	
折りたたみ形式			バックサポート折りたたみ	
タイヤ寸法 (mm)			250	
実用登坂角度 (度)			10	
段差乗越高さ 前進時 (mm)			50	
溝乗越幅 (mm)			150	
最小回転半径 (mm)			820	
使用者最大体重 (kg) ※積載物含む			100	
バッテリー			リチウムイオン電池 DC25.55V 15.6Ah	
充電電圧			充電器入力 100-240VAC, 50/60Hz, 2.5A Max 充電器出力 : 29.4V, 4.0A, 117.6W	
速度	モード	ギア	前進時 (km/h)	後進時 (km/h)
	S モード (標準)	1	1.0	0.3
		2	1.9	0.6
		3	3.3	1.1
		4	4.7	1.6
		5	5.9	2.0
	N モード (練習)	1	1.0	0.3
		2	1.4	0.5
		3	1.9	0.6
		4	2.8	0.9
		5	3.8	1.3

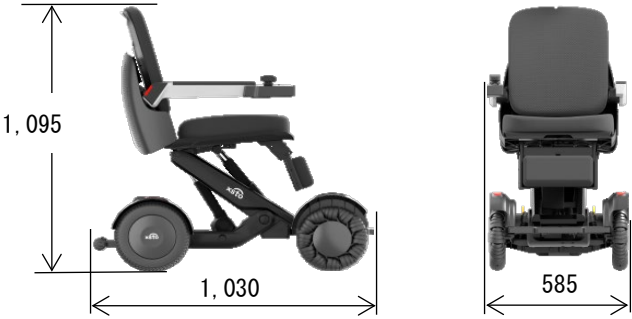
※改良のため予告なく諸元・性能を変更することがございます。

⚠ 注意 —— 最大耐荷重を超えないようにしてください。本体の損傷や転倒する恐れがあります。

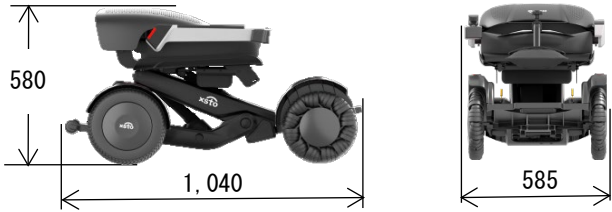
2.5 本体サイズ

単位：mm

標準状態



折畳み状態



最高状態



2.6 ご使用前の準備

ご使用前には、異常がないか確認の上ご使用ください。

(クイックレバー)

シート裏のクイックレバーがしっかりと閉じているか確認してください。(クイックレバーの使用方法については、「4 組立てと分解」を参照ください。)



クイックレバー

(タイヤ)

前輪と後輪の摩耗状態を確認してください。損傷が激しい場合や操作時の振動が異常な場合は、使用を中止し販売店にご相談ください。



(バッテリー)

バッテリーに損傷がないか、水に濡れていないか確認してください。また、正しく挿し込まれているか確認してください。(詳細は「6 バッテリーの使用説明」を参照ください。)



バッテリー

(前輪ユニットと駆動ユニット)

前輪ユニットが確実に駆動ユニットに取り付けられているか確認してください。(組付けの詳細は「4 組立てと分解」を参照ください。)



(クラッチレバー)

クラッチレバーが  ロックの位置になっていることを確認してください。(詳細は「3.3 手押し操作と電動操作の切り替え方法」を参照ください。)



クラッチレバー

3 操作方法

3.1 乗車および降車方法

乗車は、必ずクラッチレバーが  ロックの状態（詳細は「3.3 手押し操作と電動操作の切り替え方法」を参照ください。）かつ、操作ボックスの電源は切った状態（詳細は「3.1.3 電源 ON/OFF」を参照してください。）で行ってください。

3.1.1 正面からの乗車

①

フットサポートに足を乗せ、正面を向いてシートの上に座ってください。



②

シートの奥まで座り、バックサポートに背中をつけてください。



3.1.2 側面からの乗車

①

アームサポートを左図の位置まで跳ね上げてください。



②

フットサポートに足を乗せ、バックサポートに寄りかかりながら、シートの上に座り正面を向きます。



③

アームサポートを下げ、バックサポートに背中をつけてください。



注意—— 乗車時に、操作ボックスへ体重をかけるなどの過度な負担をかけると故障の原因になります。乗車時はシート面に手を置いてご乗車ください。

3.2 使用方法

本製品はタイル面、木製の床面、地下駐車場、アスファルト道路、コンクリート道路、歩道、公園の芝生などの走行に適しています。以下の路面の運転は、適していないのでご注意ください。

石畳の路面	方向転換できない可能性があります。
砂利や泥道 雪道	スリップや沈み身動きが取れなくなる可能性があります。
階段や段差 (50mm 以上)	段差で引っかかる可能性があり、最悪の場合転倒する恐れがあります。

※50mm以下の段差は、段差に対して垂直に乗り越えてください。

 **注意**——踏切の横断はできるだけ避けるようにしてください。やむを得ず踏切を渡る際は、介助者に同行してもらい、踏切手前で必ず一時停止し、左右の安全を確認し、線路に対して直行するように渡ってください。

また、高温環境下での長時間の運転・使用は、体調不良や機器の性能低下・故障の原因となる場合があります。高温環境下での連続使用はできるだけ避け、適度に休憩を取り、水分補給を行ってください。

 **注意**—— 雨の中での運転は、ご遠慮ください。電気系統に異常が生じ、急停車もしくはブレーキ機能が作動しなくなります。

くわえて、バッテリー容量が20%より低い状態になると、安全のため速度が低下します。ご使用前にバッテリーの容量の確認と20%より低くなった際は速やかに安全な場所へ移動してください。

3.2.1 電源の ON/OFF

電源を入れる際は、操作ボックス内の  電源ボタンを押すとウェルカムアニメーションの「XST0」という四つの英字が右から左にスライドして表示され、その後、車体識別番号の英数字 6 文字が右から左にスライドして流れます。その後、走行時の速度ギア「1」が表示され、しばらくするとバッテリー残量が表示され走行が可能となります。電源を切る際は、  電源ボタンを押すと電源が切れます。



3.2.2 移動の操作

本製品は、操作ボックス内の操作レバーを動かすことで移動します。操作レバーを離すと自動ブレーキがかかり動作が停止します。

(前進)

前に倒すことで前進します。



(後進)

手前に引くことで後進します。



(右旋回)

右に倒すことでその場で右に旋回します。



(左旋回)

左に倒すことでその場で左に旋回します。



3.2.3 モード切り替え方法

本製品は、はじめてお使いになる方のためのモードが設定されています。操作に慣れるまでは、初心者の方のための N モードをご使用ください。切り替えは、同時に  かめボタンと  うさぎボタンを約 3 秒押し続けてください。

	(N モード) 初心者の方のためのモードで、最高速度が 4.0km/h です。
	(S モード) 操作に慣れてきた方のためのモードで、最高速度が 6.0km/h です。

3.2.4 速度ギア調整方法

走行速度は、5 段階で調整ができ、「1」が最低速度ギアで「5」が最高速度ギアです。速度ギア調整は、 かめボタンで低くでき、 うさぎボタンで高くすることができます。移動速度の変化は、前進後進および方向転換の速度にそれぞれで影響しますが、シートの角度および昇降速度には影響しません。

3.2.5 シートの角度調整方法

本製品は、坂道を登り降りの際に自動でシート角度が水平を保つ機能が備わっています。角度調節中は、移動速度が低下することがあります。また、登坂角度が15度を超える走行はお控えください。登坂角度が15度を超える場合は、警告音と E9 エラーが操作ボックスに表示されます。

シート角度は、操作ボタンで調整することもできます。

(前傾)

 かめボタンと  マイナスボタンを同時に押すとシートが前傾していきます。



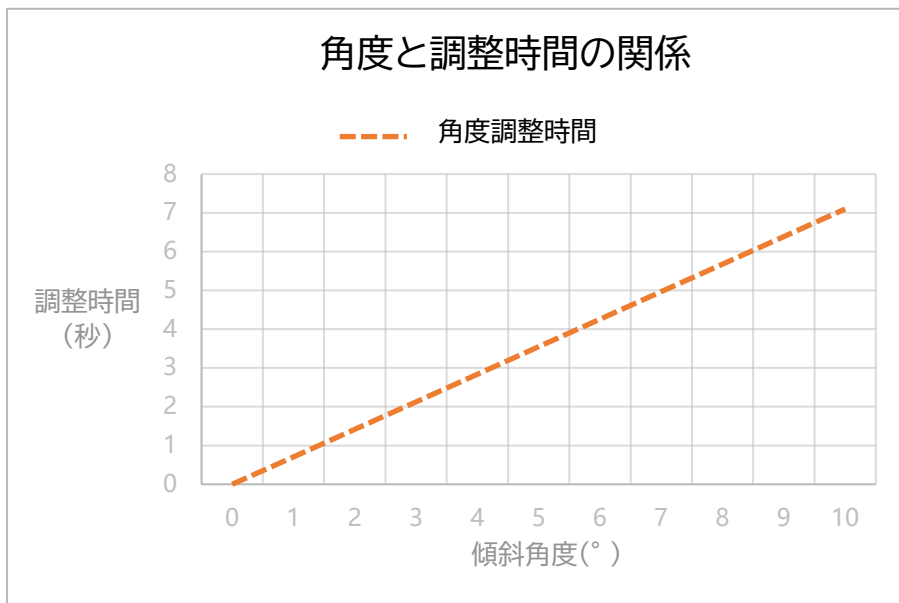
(後傾)

 うさぎボタンと  プラスボタンを同時に押すとシートが後傾していきます。



 **注意** —— 走行時は、シートの角度を調整することをしないでください。また、大きく角度をつけた状態で走行はしないようにしてください。

本製品は坂道角度を検知しシート角度を自動調整する機能に対応する曲線は以下の通りです。



本製品は走行速度制限機能が搭載されており、車体が傾斜することで機能が作動し、自動的に減速して使用者の安全を確保します。

平坦な道で走行速度ギアを変更したい場合は、再度速度ギアを調整してください(詳細は「3.2.4 速度ギア調整方法」を参照ください)。

⚠ 注意 —— スロープを使い乗車したまま車載を行うのは危険ですのでお控えください。乗車せず車載する際は、バックサポートを折りたたみ(詳細は「3.2.7 格納機能」を参照ください。)、走行速度を落として車載を行ってください。



3.2.6 シートの昇降

本製品は、シートの昇降機能があり、使用者がテーブルの高さに合わせての食事や高い場所の物を取り出せます。また、シートの高さが620mm以上、最下点や格納状態（詳細は「3.2.7 格納機能」を参照ください。）では走行速度制限機能が作動し、自動的に減速して使用者の安全を確保します。

（下降）

操作ボックスの **−** マイナスボタンを押し続けるとシートが下降していき、離すと動作が停止します。



（上昇）

操作ボックスの **+** プラスボタンを押し続けるとシートが上昇していき、離すと動作が停止します。



（標準の高さ）

標準のシート高さにするには、**−** マイナスボタンと **+** プラスボタンを同時に約3秒間押すと、操作ボックス表示画面に「**U**」が表示され自動で昇降します。

本製品が標準以外の状態で起動された場合、まれに E9 エラーが表示されることがあります。解除するには、シートに座らず電源ボタン以外を押すか、レバーを軽く押すと解除することができます。解除後は、シートの調整が完了するのを待ってから乗車してください。

⚠ 注意 —— 坂道を走行する際は、シートが高い状態で操作すると転倒する恐れがあるため、必ず標準の高さ以下に設定にしてください。

⚠ 注意 —— シートの下降を行う際、足はフットサポートの上に乗せ、十分に気を付けるようにしてください。

3.2.7 格納機能

本製品では、シートを最下点にし、バックサポートを手動で折りたたむことでコンパクトにできます。

①

標準のシート高さから **－** マイナスボタンと **＋** プラスボタンを同時に約 3 秒間押すと、「**F**」のマークが表示され自動的にシートが最下点まで下降します。
再度、ボタンを押すと上昇します。



②

バックサポートを折りたたむには、バックサポート下後方にあるバックルを解除することで折りたたむことができます。
シートクッションを取り外すことで、コンパクトに折りたたむことができます。



⚠ 注意—— 格納する際は、周りに使用者の方以外に人がいないことを確認し、格納部分に物が無い状態で作動させてください。

3.3 手押し操作と電動操作の切り替え方法

手押し操作と電動操作の切り替えは、クラッチレバーによる切り替えとリモコンキーによる切り替えの 2 種類があります。バッテリーが切れた際などに活用できます。

3.3.1 クラッチレバーによる切り替え

電源を落とした後、手押し操作する場合は、左右後輪の横にあるクラッチレバーを手で押して  ロック解除側へ切り替えると可能です。電動操作にする際は、クラッチレバーを手で引いて  ロック側へ切り替えてください。



⚠ 警告 —— 坂道でのクラッチレバーの切り替えは、大変危険ですのでおやめください。

クラッチレバーの位置がロック解除の位置で電源を入れますと、E7 エラーが表示され走行ができません。しっかりとクラッチレバーをロック状態に入れるようにしてください。

3.3.2 リモコンキーの各種名称

リモコンにはアンロックボタン、ロックボタン、電源ボタンの3つのボタンがあります。



3.3.3 リモコンキーによる操作方法

(電源 ON/OFF)

リモコンキー内の電源ボタンを押すと、操作ボックス表示画面に起動時のウェルカムアニメーションが表示されます。



(ロック)

リモコンキーのロックボタンを押すと、本体がロックされます。これにより、操作ボックスで操作できなくなります。操作ボックス表示画面には、ロックアイコンの表示がされます。



(ロック解除)

リモコンキーのアンロックボタンを押すことで本体をロック解除することができます。操作ボックス表示画面にはアンロックアイコンが表示されます。



3.3.4 リモコンキーの電池交換

①

リモコンキーの上蓋を、隙間にマイナスイドライバーをかませて開けてください。



②

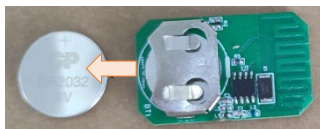
白色のソフトラバーを取り外し、基板を取り外してください。



③

ボタン電池を取り出し新しいボタン電池に交換してください。

電池型式：CR2032



④

ボタン電池がセットできたら、逆の順序で組立て、交換が完了となります。

※電池がある側をアンロックボタン側にくるようにしてください

3.4 USB 充電ポート説明

アームサポート内側にある USB 充電ポートは、以下のプロトコルをサポートしています。

USB PD3.0 (PPS)



USB ポート

Huawei SCP/FCP	高通 QC4+/QC3.0
Apple 2.4A	Samsung AFC
VIVO 9V2A デュアルエンジン	MediaTek PE2.0
一部 OnePlus V00C	OPPO DASH
最大出力 36W	

4 組立てと分解

4.1 パーツユニット

本製品は、3つの部分に分解できるため車に載せての移動や保管が簡単になります。



座席ユニット



駆動ユニット



前輪ユニット

4.2 組立て・分解方法

本製品を組立ての際は、駆動ユニットに前輪ユニットを取り付け、その後に座席ユニットの順に取り付けてください。分解の際は、駆動ユニットから座席ユニットを取り外し、その後に前輪ユニットの順に取り外してください。

⚠ 注意 —— タイヤや駆動部分に手や指を入れると、巻き込まれ怪我をする恐れがあるため、手や指を近づけないようにしてください。

4.2.1 組立て方法

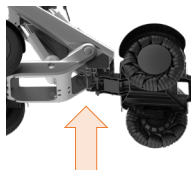
①

駆動ユニットの前方を持ち上げます。



②

駆動ユニットのシャフト部と前輪ユニットのU字型の部分を下図の矢印のように合わせてください。



③

駆動ユニットを下ろすと、前輪ユニットと駆動ユニットが自動的にロックされます。この時、カチッとロック音がします。



④

駆動ユニットのクイックレバーを前方へ開くとロックが解除します。



⑤

接続部に、ほこりや小石などの異物がないことを確認し、座席ユニットと駆動ユニットの接続部の位置を合わせ、スライドします。



⑥

正しく挿入されていることを確認後、クイックレバーを締めてください。その後、座席がしっかりと固定されているかを確認してください。



7

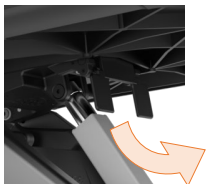
バックサポートは起こすことで、自動的に固定されます。最後に、バックサポートが確実に固定されていることを確認してください。



4.2.2 分解方法

1

駆動ユニットの上部クイックレバーを緩めます。



2

座席ユニットを前方へスライドさせて取り外します。



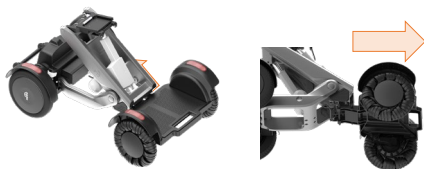
3

取り外した座席ユニットは逆さにせず水平な面に平置きしてください。



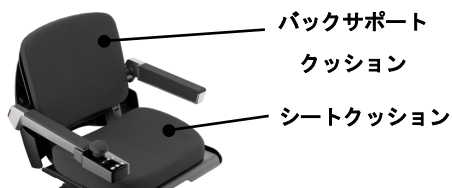
4

駆動ユニットの前方のクイックレバーを引き上げ、前輪ユニットを引き出します。



4.2.3 クッション部分の取り付け、取り外し

バックサポートクッションおよびシートクッションはマジックテープで本体に取り付けられています。



4.2.4 レッグサポートの格納

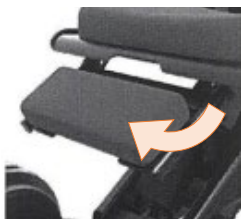
①

レッグサポート中央にあるボタンを押すと両サイドにある駆動ピンが連動して動きます。



②

レッグサポート中央部のボタンを押した状態でレッグサポート本体を伸展することで足を延ばしたりや折りたたむ事で格納することができます。



⚠ 注意 —— レッグサポートを格納した状態での走行やシートの上昇を行うと、足の挟み込みの可能性があります。危険ですのでおやめください。

5 保管及び運搬

5.1 保管方法

本製品を長時間使用せず保管する場合は、バッテリーを取り出してください（詳細は「6.3 バッテリーの取り外しと取り付け」を参照ください。）。

保管する際は、直射日光や湿気の多い場所、高温・低温の場所、ほこりが多い環境を避けるようにしてください。

5.2 運搬方法

本製品を運搬する際は、必ず電源を切るかバッテリーを取り外してください。運搬時には、本体を 3 つのユニットに分解することをお勧めします。詳細については、4.2.2「分解方法」を参照ください。

⚠ 警告—— 本製品は、航空機の基準を超えているためご利用いただけません。基準などの詳細は、各航空会社にご確認ください。

5.2.1 本体の運搬

短距離の移動では、2 人がそれぞれのシート下部を掴み、本体全体を持ち上げて運ぶことができます。



5.2.2 駆動ユニットの運搬

駆動ユニット後方の持ち手を掴んで、駆動ユニットを持ち上げます。



5.2.3 座席ユニットの運搬

座席の側面に立ち、両手で座席の前後のくぼみを掴み、座席を持ち上げます。



5.2.4 前輪ユニットの運搬

前輪ユニットの持ち手を掴んで、前輪ユニットを持ち上げます。



6 バッテリーの使用説明

6.1 バッテリーに関する注意事項

(1) 保管の注意事項

- ・ 長期間保管する場合、バッテリー残量が 50%以上あることを確認してください。50%未満の場合は、充電してから保管をお願いします。また、3 ヶ月ごとに専用充電器を使用し充電してください。
- ・ バッテリーと充電器は清潔で乾燥した状態で保管し、風通しの良い場所に置いてください。腐食性物質や火源、熱源から遠ざけるようにしてください。
- ・ 0℃から 35℃の室内で保管してください。

(2) 運ぶ時の注意事項

- ・ バッテリーと充電器は包装してから運送し、激しい振動や衝撃、圧迫を防止し、直射日光や雨にさらされないようにしてください。

(3) 使用時の注意事項

- ・ 走行時にバッテリー容量が 20%より低い状態になると、安全のため走行速度が低下します。ご使用前にバッテリーの容量の確認と 20%より低くなった際は速やかに安全な場所へ移動してください。

(3) 予防保全事項

- a) バッテリーを保管する際は、40%～60%の電池残量で保管してください。
- b) 長期間使用しない場合は、3 ヶ月ごとに完全に充電および放電を行い、その後、バッテリーを約 50%まで指定の充電器で充電してください。
- c) バッテリーのメンテナンスでバッテリー内の電池部分を交換しないでください。これによりバッテリーの性能が低下する恐れがあります。
- d) バッテリーボックスは、絶対に分解、改造はしないでください。
- e) 故障の処理

故障現象	原因	解決方法
電源がつかない	充電器が刺しっぱなし	充電器が刺さっていないか確認してください。次にバッテリーを充電してください。改善されない場合、修理、または交換をお願いします。
	バッテリー残量がない	
	バッテリーの劣化、故障	
充電器のランプが点灯しない	充電器の AC プラグが電源コンセントに未接続	充電器の AC プラグを電源コンセントに差し込んでください。改善されない場合は、充電器、またはバッテリー交換をお願いします。
	充電器の故障	
充電ができない	充電器の DC プラグがバッテリーに未接続	充電器の DC プラグとバッテリーがしっかり接続されていることを確認してください。改善されない場合は、バッテリー交換をお願いします。
	バッテリーが満充電の状態	

- f) バッテリーの保証期間は納品日から 1 年です。
サイクル寿命：充放電サイクル 500 回、容量 $\geq$ 80%。
- g) バッテリーの処理方法
バッテリーの処理は地方自治体に従っておこなう必要があります。販売店にご相談ください。

(4) バッテリー使用上の注意事項

- ・ バッテリーを水などの液体に浸さないでください。また、バッテリーを濡らさないようにしてください。
- ・ 火元や極端な高温環境下で充電しないでください。火やヒーターなどの熱源、可燃性・爆発性物質の近くでバッテリーを使用または保管しないでください。バッテリーが漏れたり異臭を発したりした場合は、直ちに火気から遠ざけ使用を中止してください。初めて使用する際は、完全に充電してからご使用ください。
- ・ バッテリーを火に投げ入れることや加熱することはしないでください。
- ・ 導線や他の金属物体でバッテリーのプラス極とマイナス極を短絡させないでください。
- ・ 釘や他の鋭利な物でバッテリーケースを刺したり、バッテリーを踏んだりハンマーで叩いたり、衝撃を与えないでください。
- ・ バッテリーは絶対に分解しないでください。
- ・ バッテリーを電子レンジや加圧容器に入れないでください。
- ・ バッテリーを他の機器に使用しないでください。
- ・ バッテリーを直列または並列で使用しないでください。
- ・ 高温の直射日光下、雨天、湿気のある環境で充電しないでください。
- ・ 人通りの多い廊下、避難通路、安全出口などの公的場所では充電しないでください。
- ・ 静電気が発生しにくい環境でバッテリーを充電、使用、保管してください。
- ・ 日中の人がいる状態でバッテリーを充電してください。人が離れる際は、充電プラグを抜いてください。夜通しの充電を禁止します。
- ・ 長時間充電しても充電が十分にならない場合は、充電を停止してください。

- ・ バッテリーが異臭、発熱、変形、変色、その他の異常を示す場合は使用しないでください。使用中または充電中の場合は、直ちに充電器から取り外し、使用を中止してください。
- ・ 極端な高温環境（直射日光や暑い日の車内など）でバッテリーを使用しないでください。バッテリーが過熱し、性能に悪影響を与え、使用寿命が短くなる可能性があります。
- ・ 過充電の防止のため充電器のランプが満充電を示したら、すぐに充電器を取り外してください（詳細は「6.2 バッテリーの充電」を参照してください。）。
- ・ バッテリー液が漏れて目に入ったり肌についたりした場合、こすらずにすぐに流水で洗い流し、速やかに医療機関を受診してください。迅速に処置しないと目に損傷を与える可能性があります。
- ・ 上記のような不良現象が発生した場合は、ただちに販売店へ連絡してください。

6.2 バッテリーの充電

専用充電器を使用して充電してください。充電中は走行できません。

充電中は充電器のランプが赤く点灯し、充電が完了すると緑に変化します。



充電器の入力電圧

100-240VAC

50/60Hz

出力電圧：29.4V 4A

①

バッテリーの防塵カバーを開けてください。



防塵カバー

②

充電器の DC プラグをバッテリーへ差し込んでください。差し込む際は充電器のプラグの根本部分をもって行ってください。外す際も、コード部分を引っ張ったり折り曲げたりしないようにしてください。



注意 —— 充電器を濡らしたり濡れた手で触れたりしないでください。



注意 —— 完全に充電がなくなるとパフォーマンスが低下し、バッテリーが劣化する可能性があります。



注意 —— 使用後は、推奨する手順で充電をするようにしてください。

6.3 バッテリーの取り付けと取り外し

(取り付け)

①

矢印の方向にバッテリーを挿しこみ、「カチッ」という音が聞こえるまで確実に差し込んでください。



②

バッテリーが確実に装着できているか確認するため、バッテリーのハンドルを矢印の方向へ引き、外れないことを確認してください。



(取り外し)

①

バッテリーの取り外しボタンを押しながら、バッテリーのハンドルを握ります。



②

そのまま、引き抜きます。



⚠ 注意 —— 充電器や充電コードに油汚れ、洗剤、希釈剤、または他の損傷を引き起こす可能性のある物質に近づけないでください。

⚠ 注意 —— バッテリーは、室温が0℃から35℃の範囲内で、湿気や強い磁気からさけて保管してください。

⚠ 注意 —— バッテリーを持ち運ぶ際は、落としたりぶついたりしないよう丁寧に扱うようにしてください。

7 メンテナンス

7.1 メンテナンスおよびチェック

(お手入れ方法)

以下の手順に従い、本体を清潔に保ってください。

- ・ 本体に埃がついている場合は、湿った布で拭き取ってください。本体を水で洗淨する際は、注意してください。
- ・ 汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤を使用してください。石油系溶剤の使用は避けてください。
- ・ 高圧洗淨機は使用しないでください。

 **警告** —— 本体には水を直接かけないでください。感電、ショート、腐食のリスクがあります。

 **注意** —— 溶剤やベンゼン、その他の有機溶剤を使用しないでください。高圧洗淨機も使用しないでください。これらは色あせ、変形、劣化、損傷の原因となる可能性があります。

 **注意** —— 操作ボックスに鋭利な物を挿入しないでください。操作ボックスが損傷する恐れがあります。

 **注意** —— 市販の潤滑油や油性防錆剤、ワックスなどを本体の可動部品や接続部、タイヤに塗布しないでください。これらの物質の粘性により、砂やその他の異物が入り込み、故障の原因となるリスクがあります。

 **注意** —— 濡れた手で機器を操作しないでください。

 **注意** —— 完全に放電した状態で長期放置した場合、バッテリーの容量が低下し、走行距離が短くなったり、バッテリーの寿命が短くなったりします。

 **警告** —— バッテリーやタイヤ、シート類などの消耗品は、交換が必要となった時は、販売店に連絡してください。

(日常点検)

走行する前に以下の点検を必ずおこなってください。異常がみられる場合にはお買い上げの販売店で点検を受けてから使用してください。

		点 検 項 目
操作ボックス		操作レバーを離したとき、中央の位置に戻ってくるか？
		操作レバーの曲がり、ガタはないか？
		スイッチ類は正常に作動するか？
タイヤ	前輪	亀裂、損傷、異音、異物の挟み込みなどはないか？
	後輪	亀裂、損傷はないか？
バッテリー		しっかりと本体へセットされているか？
		充電はされているか？（
駆動モータ		平地走行中正常に止まることができるか？
		「電動」、「手動」の切り替えが確実におこなえるか？
その他		各部ボルト、ナットの緩みはないか？

(定期点検)

安全にご使用いただくために、6ヶ月毎にご自身またはお買い上げの販売店で点検を受けてください。次ページの表は点検記録としてお使いください。

定期点検チェック表(半年～3年)

※記号入力

V:異常なし A:調整 △:修理 ×:交換 T:締め付け C:清掃 L:充電

点検項目		半 年	1 年	1 年 半	2 年	2 年 半	3 年
操作ボックス	操作レバー動作確認（戻り具合）						
	操作レバーの曲がり、及びガタつき						
	各スイッチの作動確認						
	液晶モニター部の点灯異常やケースの損傷						
前輪部	ホイール異音						
	タイヤの溝深さ・異常摩耗・損傷						
	ホイール・ボルト・ナット類の緩み						
	サスペンションの損傷、及びガタつき						
	フェンダーの損傷						
後輪部	タイヤの溝深さ・異常摩耗・損傷						
	ホイール・ボルト・ナット類の緩みまたは損傷						
	サスペンションの損傷、及びガタつき						
	フェンダーの損傷						
転倒防止	キャスタ、及びキャスタフォークの損傷						
バッテリー	バッテリーケースに変形、損傷箇所はないか						
	バッテリー挿入後、ロック機能の確認						
充電器	ハーネス類の損傷						
	充電の動作確認						
モータ類	アクチュエータの異常・異音						
	電磁ブレーキの確認						
本体	ハーネス類の損傷						
	ユニット連結部分に損傷、及びガタつき						
	クラッチレバーの作動具合						
アームサポート	アームサポートのガタはないか						
	サイドランプ点灯異常						
フットサポート	フットサポートの損傷						
シート	シートの汚れ・損傷						
実施年月日							
実施者氏名							

定期点検チェック表(3年半～6年)

※記号入力

V:異常なし A:調整 △:修理 ×:交換 T:締め付け C:清掃 L:充電

点検項目		3 年 半	4 年	4 年 半	5 年	5 年 半	6 年
操作ボックス	操作レバー動作確認（戻り具合）						
	操作レバーの曲がり、及びガタつき						
	各スイッチの作動確認						
	液晶モニター部の点灯異常やケースの損傷						
前輪部	オムニホイール異音						
	オムニホイール溝深さ・異常摩耗・損傷						
	ホイール・ボルト・ナット類の緩み						
	サスペンションの損傷、及びガタつき						
	フェンダーの損傷						
後輪部	タイヤの溝深さ・異常摩耗・損傷						
	ホイール・ボルト・ナット類の緩みまたは損傷						
	サスペンションの損傷、及びガタつき						
	フェンダーの損傷						
転倒防止	キャスタ、及びキャスタフォークの損傷						
バッテリー	バッテリーケースに変形、損傷箇所はないか						
	バッテリー挿入後、ロック機能の確認						
充電器	ハーネス類の損傷						
	充電の動作確認						
モータ類	アクチュエータの異常・異音						
	電磁ブレーキの確認						
本体	ハーネス類の損傷						
	ユニット連結部分に損傷、及びガタつき						
	クラッチレバーの作動具合						
アームサポート	アームサポートのガタはないか						
	サイドランプ点灯異常						
フットサポート	フットサポートの損傷						
シート	シートの汚れ・損傷						
実施年月日							
実施者氏名							

7.2 保証期間

保証期間は、ご購入日から1年間を保証します。

ただし、以下の原因によって生じた破損は、保証の対象外とします。

- ・ 誤った操作による破損や本体の過負荷使用した場合
- ・ 意図的に破損させた場合
- ・ 車輪やその他付属部品の自然摩耗の場合
- ・ 不適切なメンテナンスをした場合
- ・ 本体の改造、及び機器や付属品の不適切な使用をした場合
- ・ バッテリーの不適切な充電をした場合

保証期間内に以下のいずれかの状況が発生した場合は、材料費及びサービス料金を請求します。

- ・ 消費者の使用、保守、保管の不適切さによって生じた破損
- ・ 本体分解によって引き起こされた損傷
- ・ シリアルナンバーが一致しない場合

また、保証期間を超過した製品についても、引き続きサービスを提供します。

7.3 責任について

以下の状況において発生した損害について、メーカーおよび販売元は一切の責任を負いません。

- ・ 不適切な操作、取扱説明書に従っていない操作をした場合
- ・ 許可なく機器を修理、分解をした場合
- ・ 本体の専用部品以外の部品を使用した場合
- ・ 本体の構成部品を許可なく取り外した場合
- ・ 過負荷での操作、電力不足での操作をした場合

この説明書の内容は、製品の品質向上や技術仕様のアップグレードに伴い変更される場合がありますが、事前に通知する義務は負いません。

8 故障が考えられるとき

8.1 エラーコード

操作ボックス表示画面に点灯する赤色のランプは、エラー状態や警告を示しています。



エラーコード	原因	解決方法
E0	操作レバーの中立異常、または操作ボックスハーネスの断線の可能性が考えられます。	操作ボックスの電源ボタンの入・切を行いいリセットいただき改善しない場合は、操作ボックス交換が必要です。
E1	モータの通信異常が考えられます。	コントローラとモータの接続ハーネスが緩んでいる可能性があるので、販売店に連絡してください。
E2	角度調整機構の接続異常が考えられます。	角度調整機構の接続不良、または基盤の故障が考えられます。
E3	左モータ部の異常が考えられます。	左モータの接触不良、または左モータ交換が必要です。
E4	右モータ部の異常が考えられます。	右モータの接触不良、または右モータ交換が必要です。
E5	前側のアクチュエータの異常が考えられます。	アクチュエータの接触不良、またはアクチュエータ交換が必要です。

E6	後側のアクチュエータの異常が考えられます。	アクチュエータの接触不良、またはアクチュエータ交換が必要です。
E7	モータ部のクラッチレバーがアンロック（手押し）状態になっている、またはモータ内部の異常が考えられます。	クラッチレバーを確実にロック側へ切替てください。改善されない場合には、モータ交換が必要です。
E8	温度異常が考えられます。	一度操作を停止して、しばらくして温度が正常になったら、エラーは解除されます。
E9	標準の高さ以外の状態で起動（折り畳み状態を除く）もしくは、基準値外の高さの状態にされた場合、表示されません。	シートに座らず電源ボタン以外を押すか、レバーを軽く倒すとエラーは解除されます。解除後は、自動的にシートを調整しますので、調整が完了するのを待ってから乗車してください。

8.2 トラブルシューティング

症状	チェック及び解決方法
本体が起動しない	充電器が繋がっていないか確認してください。バッテリーの残量不足が考えられるため充電してください。 バッテリー残量が十分にもかかわらず起動しない場合は、販売店に連絡してください。
バッテリーが充電できない	販売店に連絡してください。
本体が停止しない	操作レバーが物に引っかかり本体が停止しなくなった場合は、操作ボックス部の電源ボタンを押して電源を切ってください。本体が緊急停止します。物を取り払い、再度電源を入れることで通常にご使用いただけます。 何も触れていない状態で動く場合は、販売店に連絡してください。
ボタンの機能に異常がある場合	操作ボックス部のボタンに不具合が発生した場合は、販売店に連絡してください。
モータから異音がする場合	本体に人が乗っていない状態で本体を走行させてください。異音が持続する場合は、左右どちらから異音が発生するか確認し、販売店に連絡してください。

製造元



 Floor 1, Building C, 555 Plant. Ma' an Cun Rd, Cuiheng New District, Zhongshan City, Guangdong, China

 +86-760-28207258

 info@xstomobility.com

販売元

株式会社今仙技術研究所

岐阜県各務原市テクノプラザ 3-1-8

〒509-0141

TEL (058) -379-2756

FAX (058) -379-2754

E-mail star@imasengiken.co.jp